

## 令和5年度「医療情報の理解促進に関する研修会」のテーマについて

### 1 研修目的

患者が自身の主体的な選択・判断の基となる医療情報の理解を深めるとともに、患者やその家族と医療従事者等のより良い関係づくりを進めるため、医療従事者等を対象に、効果的な説明・助言の方法や説明を行う上で参考となる制度・知識の提供等を行う。

2 開催時期 令和5年12月～令和6年2月頃を予定

3 開催方法 研修動画のオンデマンド配信形式

### 4 研修会テーマ（案）

- (1) 患者の自発的な行動の変化を促すコミュニケーション術
- (2) やさしい日本語の活用方法

## (参考) 過去の開催実績

	開催日時	内容	講師	場所	人数(実績)
平成30年度	2月8日(金) 15時~17時	■ACP(アドバンス・ケア・プランニング)のすすめ方	東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部 診療部長 三浦 靖彦 氏	東京都健康プラザ 「ハイジア」研修室 (定員120名)	118名
		○その人らしく意思決定するために			
令和元年度	2月13日(木) 15時~17時	■ヘルスリテラシー向上のために医療従事者ができること	聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授 中山和弘 氏	東京都議会議事堂 都民ホール	121名
		○適切な情報提供のあり方を考える			
令和2年度	開催なし	—	—	—	—
令和3年度	2月1日(火)~ 3月18日(金)	■いま知っておきたい、患者との関わり方	(1)株式会社グローバルヘルスコミュニケーションズ 代表 蝦名 玲子氏 (2)医療法人社団M-FOREST みやざきRCクリニック 院長 宮崎 雅樹氏	※オンデマンド配信	293名 (※申込者)
		○リスクコミュニケーションとオンライン診療— (1)医療従事者が知っておきたいリスクコミュニケーション (2)実臨床におけるオンライン診療の現状と今後の展望			
令和4年度	2月1日(水)~ 2月28日(火)	(1)患者と医療者の協働に向けたヘルスコミュニケーション (2)患者とのかかわり方を考える~対応に難しさを感じた事例から~	(1)帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授 石川 ひろの 氏 (2)国立がん研究センター中央病院 精神看護専門看護師 佐々木 千幸 氏	※オンデマンド配信	510名 (※申込者)